

改憲と戦争の道とめよう 「非正規だけの社会」にするな



国鉄闘争全国運動6・9全国集会

運転士・車掌廃止!? JRで何が?

6月9日(日)13時開始 正午開場

東京・上野公園野外ステージ

6月9日、東京・上野公園野外ステージで、国鉄1047名解雇撤回、労働運動の再生をめざす全国集会を開催します。改憲と戦争への道を許さない、労働者の雇用・権利を根こそぎ破壊する「働き方改革」攻撃と闘う集いです。多くの方のご参加を心より訴えます。



JR上野駅不惑口より徒歩5分
東京メトロ銀座線 上野駅7番出口より徒歩5分
日比谷線 上野駅5b出口より徒歩6分
京成本線 成田上野駅より徒歩5分
JR御徒町駅から徒歩5分
地下鉄千代田線 湯島駅から徒歩3分
銀座線 上野広小路駅から徒歩3分
都営大江戸線 上野御徒町駅から徒歩5分

の名ばかり正社員になります。長年の経験の蓄積が必要で、かつ多岐にわたる技術力が崩壊し、しかも全体を把握して責任をとる者は誰もいなくなります。さらに3月16日のアイヤ改正では、「柔軟な働き方」生産性向上を掲げ、朝夕のラッシュ時間帯に、管理部門でデスクワークをする者がハンドルを握る「新乗務員勤務制度」が実施されました。運転士・車掌を削減し、かつ賃金・待遇・労働条件を破壊するのが狙いです。管理者は早朝に出社して3時間ほど乗務してから自分のオフィスに行く。こんな「働



JRで何が?

いまJR東日本の職場では前代未聞の労組破壊攻撃が吹き荒れています。わずか1年の間に3万7千人が東労組を脱退し、さらにJR東下請企業の労組の連合組織であったJR東日本労連も解散・消滅しました。国鉄民営化10万人もの国鉄職員削減に協力した御用組合までつぶし、「労働組合の存在しない企業」「労働組合の存在しない社会」をつくらせているのです。

それは、JR資本と首相官邸が一体で仕組んだ国策攻撃です。昨年2月22日に

外注化、安全崩壊

それと一体で鉄道業務を無数の子会社・孫会社にバラバラに外注化し、労働者を社会全体に振りまこうとしているのです。それが「働き方改革」の本質です。「同一労働同一賃金」社会から非正規と

を転籍に駆り立てる攻撃が全面的に始まっています。3月1日には秋葉原駅が丸ごと外注化されました。保線や電力、信号通信業務は設備管理に対する最終判断以外は全部外注化することが提案されています。「鉄道のインフラや技術・知見」はすべて外部化するというのが狙いです。そこで働く労働者のほとんどは非正規が、超低賃金

全国の皆さん、あらためてご支援をお願いします

今こそ国鉄1047名解雇撤回!

昨年5月、動労千葉・動労総連合は、満を持して国鉄1047名解雇撤回に向けた新たな労働委員会闘争を開始しました。

最高裁判所は2015年6月、民営化に反対する労働組合に所属する労働者をJR採用候補者名簿から削除した「不採用基準」は不当労働行為であるとして作られたものであることを明確に認定したのです。

それは、「不採用基準」は具体的に合理的」としてきたこれまでの判断を覆す画期的な判決でした。

さらに、「不採用基準」の策定を指示したのがJR

設立委員長の齋藤英四郎だったこと、さらにはJR設立委員会の第3回総会で正式に決定していたことも突き止めました。

国鉄改革法23条には「国鉄職員の採用について、設立委員会の行為はJRのした行為とする」と明記されています。「JRに法的責任なし」と判じた国労事件の最高裁判決でも「JR設立委員会が不当労働行為を行なった場合は別として」という条件が付けられています。

つまり、民営化に伴う国鉄労働者の解雇が不当労働行為であったこと、JRに法的責任があることが、一点の曇りもなく明らかにしたのです。

しかも、不採用基準の策定を支持した齋藤英四郎は当時の経団連会長です。国鉄分制・民営化は、政府・財界ぐるみの国家的不当労働行為であったことが、ついに明らかになったのです。

私たちは直ちにJR東日本に団体交渉を申し入れ、解雇撤回・JR復帰を求め

ました。しかしJRは団交を拒否し、団交開催に向けた労働委員会のあるせんでも拒否したのです。こうして30年余の時を経て解雇撤回・原職復帰を求める異例の労働委員会闘争が始まることになりました。

ところが、千葉県労働委員会の村上公益委員は第1回調査の冒頭、「当委員会としては最高裁判決に反した命令を書くことはできない」と表明し、一切の審理を拒否したまま結審を宣言しました。その余りの異様に調査の場は怒りの声で

それは労働委員会の自殺行為にほかなりません。この異常な事態の中にこそ、国家的不当労働行為、戦後最大の労働運動解体攻撃と

千葉県労働委員会には、審理に入れば国家犯罪の深い闇に陥れることになるのを恐れ、最高裁・国家権力に屈して、真実を闇に葬ろうとしたのです。

あらためて全国の皆さんに訴えます。国鉄1047名解雇撤回闘争へのご支援と連帯を引き続きお願いいたします。

ついに突き止めた国鉄改革の真実



最大の労働運動解体攻撃と

改憲と戦争に向けた労組破壊を許すな！

労働組合のない社会にさせない

改憲阻止！大行進運動の発展を

（表面の概要）
 「表面の概要」が生まれるのは過労死と重大事故だけだ。
運転士の廃止
 しかし、鉄道業務として働く者を軽んじる攻撃はそれで終わらせません。安全や技術継承が崩壊し、職場や地域から怒りの声が出し、労働者を確保することもできなくなり、AI（人工知能）神話も崩壊する。今こそ闘う労働組合の復権が求められています。

箱、そして採算のとれない地方ローカル線は切り捨て、労働組合などいっさい認めない、と。
 しかし、こんなやり方はすべて破たんします。安全や技術継承が崩壊し、職場や地域から怒りの声が出し、労働者を確保することもできなくなり、AI（人工知能）神話も崩壊する。今こそ闘う労働組合の復権が求められています。

私たちが昨年、改憲・戦争阻止！大行進運動を呼びかけました。「戦争は二度と行わない」「改憲は絶対許してはならない」という、戦後日本労働運動の原点が揺られていると感じたからです。

教え子を再び 広島教職員100人声明を全国に

掲げようという訴えは、全国で大きな波紋を広げています。その勇気が必ず全国の労働者を獲得し、動かすことができます。

安倍政権は「2020年新憲法施行」の企てを今もあきらめていません。新天皇即位や元元祝賀の大キャンペーンを組織し、国家主義を洪水のように煽り、労働運動を解体することによって改憲を強行しようとしています。

安倍政権は「働き方改革」は、労働者が長い歴史の中で勝ち取ってきた8時間労働や雇用賃金を社会的に破壊する戦後最大の労働大改悪です。私たちは、労働運動の重大な課題として「働き方改革」と闘いを開始します。

「少子化で急激に利益が圧迫されるリスクに一人ひとりが立ち向かえ」。JR東日本は、毎年最高益を更新し続けているというのに、こんなおとし文句で職場や地域を凍りつかせています。



野党共闘などに依拠するのはなく、私たち自身の闘いの中に戦争を阻止する力があるのだという立場を立てて自由関連な議論をまきおこし、原則性と大衆性を兼ね備えた運動を組織しよう、特に国鉄・JR、日教組、自治労で鮮明な旗を

安倍政権は「働き方改革」は、労働者が長い歴史の中で勝ち取ってきた8時間労働や雇用賃金を社会的に破壊する戦後最大の労働大改悪です。私たちは、労働運動の重大な課題として「働き方改革」と闘いを開始します。

ストライキを 威力業務妨害 当たり前の組合運動を弾圧

関西生コン支部は負けない！



全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部に対して昨年7月以降、56人もの組合員が次々に逮捕される空前の大弾圧が加えられています。

関西生コン支部は、強力な団結と闘いを背景に、関西一円の中小零細の生コン会社を共同組合に組織することに

関西生コン支部は、強力な団結と闘いを背景に、関西一円の中小零細の生コン会社を共同組合に組織することに



関西生コン支部は、強力な団結と闘いを背景に、関西一円の中小零細の生コン会社を共同組合に組織することに

関西生コン支部は、強力な団結と闘いを背景に、関西一円の中小零細の生コン会社を共同組合に組織することに

関西生コン支部は、強力な団結と闘いを背景に、関西一円の中小零細の生コン会社を共同組合に組織することに

労働時間・賃金・雇用を破壊する「働き方改革」との闘いを

非正規だけの社会にするな！

安倍政権の「働き方改革」は、労働者が長い歴史の中で勝ち取ってきた8時間労働や雇用賃金を社会的に破壊する戦後最大の労働大改悪です。私たちは、労働運動の重大な課題として「働き方改革」と闘いを開始します。

安倍政権は「働き方改革」は、労働者が長い歴史の中で勝ち取ってきた8時間労働や雇用賃金を社会的に破壊する戦後最大の労働大改悪です。私たちは、労働運動の重大な課題として「働き方改革」と闘いを開始します。



4月9日付け「東京新聞」は、「何年動いても給料上がらない」「正社員なのに低賃金層拡大」と題して、定期昇給制度のない業種が増えていることを報じました。定期昇給の廃止によって

安倍政権は民間企業だけでなく公務員労働者に対して、国家公務員法や給与法を全面改悪し、国家公務員の定年を60歳から65歳に延長し、60歳時点での賃金が現在の7割程度になるように賃金力一下げを下げると言っています。全面的な賃下げ、賃金破壊の攻撃です。国家公務員のみならず地方公務員や民間企業も含めた全社会的な賃下げを狙う大規模な攻撃です。

公務員労働運動の長年の闘いで勝ち取られた諸権利を奪おうとしているのです。